



嗚呼、素晴らしき 実写の世界

じっ-しゃ【実写】実景・実況を写真や映画にうつすこと。また、うつしたもの。
一えいが【一映画】漫画、アニメ、ゲームなどを実景によって映画化したもの。



今実写映画が花盛り。ハリウッド映画では、絶大な人気を誇るアメリカン・コミックの実写版「スパイダーマン」(2002)、「X-MEN」(2000)などの大ヒットが記憶に新しい(ちなみに続編「スパイダーマン2」は7月10日より公開!)。そして日本映画界でも、とうとう今年がその蜜月に! 派手なアクション、CG、豪華なキャスト・スタッフに注目です。(右図参照)
しかし、実写映画の隆盛は今に始まったことではない! モノクロの時代からたくさんの漫画・アニメなどが実写化されています。実際に探してみるとあるわあるわ、名作・珍作、まさにお宝の山。タイトルとキャストを見ただけで「えっ、この漫画、映画になってたの!?!」「こんな人が出てる!!」と仰け反ってしまうほど、どの作品もインパクトはメガトン級。ではその一部をご紹介します。

実写アタリ年2004年公開映画

CASSHERN
監督: 紀里谷和明、出演: 伊勢谷友介、麻生久美子
◆昭和48年にフジテレビ系で放送された人気アニメ。
◆個人的には大滝秀治イチオシ。

キューティーハニー
監督: 庵野秀明、出演: 佐藤江梨子、市川実日子、村上淳
◆週刊少年チャンピオンに昭和48~49年連載。作は永井豪。
◆松田龍平、京本政樹、片桐はいり、及川光博、小日向しえなど出演。
◆ちなみに原作者の永井豪自身も出演しているらしい。探してみよう。

デビルマン
監督: 那須博之、出演: 伊崎央登、富永愛
◆週刊少年マガジンに昭和47~48年連載。永井豪。
◆永井豪原作ものが続くが、ちなみに「けっこう仮面」も映像化している。「顔を隠して肉体隠さず!」という度肝を抜くセリフ……永井豪先生……偉大です。

鉄人28号
監督: 富樫森、出演: 池松壮亮、蒼井優、香川照之
◆少年に昭和31年連載。横山光輝。
◆池松くんはなんと「ラスト・サムライ」に出演している。

NIN×NIN忍者ハットリくんTHE MOVIE
監督: 鈴木雅之、出演: 香取慎吾、田中麗奈、伊東四朗
◆少年に昭和39~43年連載。藤子不二雄。
◆昭和41年にTV放送された実写版は、表情別に作られた複数のハットリくんのお面をつけた野村光徳、好徳が演じるという力技。しかも声は吹替……。役者の魂の演技をみよ!

名作! 迷作! 珍作揃い実写映画の過去				
ルパン三世 念力珍作戦 1974東宝/原作: モンキーパンチ ルパン: 目黒祐樹 次元大介: 田中邦衛 銭形: 伊東四朗 不二子: 江崎英子 ◆密かに話題を呼びDVD化。	あしたのジョー 1970日活/原作: 梶原一騎 矢吹丈: 石橋 正次	ドカベン 1977東映/原作: 水島新司 山田太郎: 橋本三智弘 岩鬼正美: 高品正弘 殿馬一人: 川谷拓三 ◆去年の映画祭で上映。実行委員Rが振り出した傑作。 ◆水島新司自身も出演、素晴らしき演技をみせる。	みゆぎ 1983東宝/監督: 井筒和幸 原作: あだち充 ◆永瀬正敏や三田寛子出演。今では考えられない役を好演。	めぞん一刻 1986東映/原作: 高橋留美子 響子: 石原真理子(現・真理絵) 五代: 石黒賢 四谷: 伊武雅刀 ◆音楽はなんと久石譲。
	ゴルゴ13 九龍の首 1977東映/監督: 野田幸男 原作: さいとうたかを デューク東郷: 千葉真一			

また未確認情報として「こちら葛飾区亀有公園前派出所」(せんだみつお氏が出演している?)などもあるようです。ほかにも何か情報ご存じの方、お便りお待ちしております!

編集部体当たり企画! 実写映画4本勝負!!

かき集めた4本の実写映画をみんなで楽しもうというこの企画。アタリハズレを恐れずに観るべし! 観るべし!!



ゴルゴ13 1973東映/監督: 佐藤純彌 原作: さいとうたかを
デューク東郷: 高倉健
◆主役ゴルゴは、なんとあの高倉健……。ゴルゴ以外は全員イラン人、イランロケというのは、かなり異様です(笑)ありえないシチュエーションに、わざとらしい演技に、思わずツッコミ。全編にわたり、健さんの渋さで強引に押し通している感が。赤い夕陽の中、砂漠をさすらうシーンは、まさに熱い刑事ドラマ。さすが高倉健!!! (斉)
◆監督はのちに「北京原人」を撮っています。やはりただものではなかった。(あり)
◆漫画では無国籍感漂うグローバルな作品だが、実写版映画はオールイランロケにも関わらず「日本」を感じたのは主演の高倉健さんの存在感からか? 男気を感じる実写版、必見です。(浜)

YAWARA! 1989東宝/監督: 吉田一夫 原作: 浦沢直樹
猪熊柔: 浅香唯 猪熊虎滋郎: 菅原文太 松田耕作: 阿部寛
◆柔が武蔵山高校柔道部のコーチを務め、勝利に導く高校3年生から憧れの女子大に入学、バルセロナ五輪に向け、ヨーロッパオープンへの出場を決意するところまで、原作を忠実に再現されています。正統派アイドルの青春ラブストーリーだけあって、柔道の試合の決め技もさわやか。また、当時の女子大生に流行のコンサバ(?)ファッションやメイクも今見たら伝説もの!!スタイル抜群の浅香唯さんのキュートな着こなしに注目です。昔の掘り出し作品で時代の流れを感じてみてはいかがでしょうか。(くま)

ハレンチ学園 1970日活/監督: 丹野雄二 助監督: 小沼勝 原作: 永井豪
馬加呂仁(マカロニ): 穴戸錠 柳生宗成: なべおさみ 吉永百合夫(ヒゲゴジラ): 藤村俊二 西尾みどり: うつみみどり
◆のっけからいきなりアクセル全開モード。漫画をそのまま現実に持ってきた、まさに実写版。そりゃあハレンチにもなりますわ。随所に出てくる小ワザ、小ネタに「それはないでしょ」「ありえない!」の連発です。原作イメージにぴったりのキャスティングも必見!!おバカ気分を味わうなら、おすすめ一品です。(斉)
◆オープニングからすごい。全編にわたる馬鹿馬鹿しさ……ばくれつ映画です。大好き。(あり)
◆まさに何でもありの娯楽映画。原作は当時PTAでも問題になった話題作だが、実写版はお色気部分はやや抑さえ目の作りになっている。が、ありえない展開と見え見えの特撮がとにかく愉快。何も考えず笑いたい時にオススメ。(浜)

北斗の拳 1995東映/監督: トニー・ランデル 原作: 武論尊 原哲夫
ケンシロウ: ゲイリー・ダニエルズ シン: コスタス・マンデラ コリア: 鷲尾いさ子
◆しっかりと肉体派アクション映画に仕上がっています。誰もが気になる必殺技のシーンは「アチョチョ〜!!」という鋭い気合いと共に、地道に実演で拳打ち込んでます。そして名セリフ。(うーん? 普通かあ)と思ったら、敵の顔が、ぐにゃり・変形・破裂……。ぬかりなく演出してありました。(斉)
◆なぜ鷲尾いさ子が抜擢されたのか最大の謎。吹替版はアニメ版の声優さんが担当。(あり)

実写映画の面白味はリアルさ追求だけにあらず。キャスティングの妙、脚本の苦心、監督の力技、原作に忠実であろうとすればするほど増えていく矛盾点(!)みなさまもこの醍醐味を味わってみませんか。